

人と猫が共生するまちづくりを目指して

官民が行う保護猫譲渡活動の推進や、動物愛護法の改正に伴う猫の引取り条件の厳格化により、県内の猫の殺処分件数は減少してきましたが、今も年間約1,000匹の小さな命が絶たれています。無用な殺生をなくすためには、むやみに猫が増えないようにすることが必要です。皆様のご協力をお願いします。 ☎ 生活環境課 ☎ 21-1134

猫についての2つのお願い

その1

野良猫へのえさやりはやめましょう

特に、野外にえさを置きっぱなしにすると、その場所に猫が集まったり、害虫などにより不衛生になります。

また猫同士で感染症がうつる原因にもなります。野良猫をかわいそうという気持ちはわかりますが、えさやりだけをするのはやめてください。

他人の敷地で無断でえさをあげる、公園でえさをばらまくなどは、絶対にしないでください。

その2

猫は家の中で飼うようにしましょう

猫を外に出すと、事故に遭ったり、けんかにより傷いたりします。ふん尿により近所に迷惑をかけることもあります。

また飼い猫に子猫が生まれても飼えないのであれば、不妊去勢手術をしてください。発情による鳴き声やけんか、外へ逃げ出そうとする行動などがなくなり、飼いやすくなります。

もし…

「ずっと外でえさをあげてきて、家の中で飼ってあげたいけど、野生だから触れることもできない。」という場合は…
「マナーを守った見守り」に、変えていきませんか？

別府市では「飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成金」制度を設け、不幸な子猫を増やさないための「猫活動グループ」を支援しています。

主な活動 別府市の猫活動グループとは

不幸な子猫が生まれることを抑止し、地域トラブルの解消を目指します。

○ 不妊去勢手術

飼い主のいない猫に市内動物病院やおおいた動物愛護センターで手術をします。

○ 猫トイレの設置

地域の猫によるふん尿被害を減少させる効果があります。

○ 決められた場所、時間での最低限のえさやりと片付け

猫の縄張り争いのけんかや生ごみをあさるなどの迷惑行為を減らす効果があります。

○ 周辺住民への活動内容の周知

不妊去勢手術をして管理する活動を「むやみに増やしている」と誤解されないように、地域の人とコミュニケーションをとります。

大分県または別府市の助成事業を利用して不妊去勢手術を行った猫は、耳の先をさくらカットしています。

地域のボランティアとして無償で行っている猫活動グループにご理解をお願いします。



猫活動グループは3人以上（町内居住をひとりを含む）で結成していただきます。詳細は生活環境課までお問い合わせください。